

健康診断【耳鼻咽喉科】

大里南小学校 年 組 番 氏名

1 問診 (保護者記入)

2 耳鼻咽喉科健康診断結果

(健診担当医記入欄)

3 受診報告(保護者記入)

家庭で(または本人が)
気づいていること

(あてはまるものを で囲んで下さい)

- 1 耳だれがでる
- 2 聞こえが悪い
- 3 いつも鼻がつまる
- 4 くしゃみが多く、鼻汁が多い
- 5 声がおかしい(声がれ・鼻声)
- 6 口で息をしている事が多い
- 7 いびきが大きい
- 8 寝ている時に息が止まっている事がある
- 9 上記以外で耳、鼻、のどのことで気になることがある
- 10 耳鼻科の病気で、以前治療を受けたまたは現在治療中

以前治療を受けた:
(病名など)現在治療中:
(病名など)

11 特になし

異常なし(異常がなければ○で囲んで下さい)

本年度の健康診断では学校生活において支障をきたす耳鼻咽喉科疾患の異常は認めませんでした。しかし気になる症状がありましたら耳鼻科を受診して下さい。

A:耳鼻咽喉科を受診

B:経過観察。症状が出た時に耳鼻咽喉科を受診

A 鼓膜を診る事ができませんでした

耳あか等のため鼓膜を診る事ができませんでした。耳鼻咽喉科を受診して耳あかを取ってもらい、耳に異常がないか診てもらって下さい。

耳 A・B 耳垢栓塞

耳あかで耳の穴が塞がっています。聞こえが悪くなったり外耳炎の原因となる事があります。

耳 A・B 渗出性中耳炎

鼓膜の内側に滲出液がたまる病気です。痛みはありませんが聞こえが悪くなるので日常会話や学校生活に支障をきたす事があります。

耳 A・B 慢性中耳炎

鼓膜に穴があいていて耳だれ等の炎症を繰り返したり聞こえが悪くなったりします。放置すると難聴が進行し、手術が必要になる事もあります。

耳 A・B 難聴の疑い

聞こえが悪い可能性があります。

鼻 A・B アレルギー性鼻炎

アレルギーの原因となる物質を吸入すると発症する病気で、くしゃみ・鼻水・鼻づまりが主な3症状です。その原因物質には通常性のホコリ・ダニや季節性の花粉症などがあります。慢性的な鼻づまり集中力の低下や睡眠時無呼吸による授業中の居眠りなど学校生活に支障が出る原因になります。

鼻 A・B 副鼻腔炎

慢性的に粘性・膿性鼻汁があり、鼻づまりや嗅覚障害・鼻出血・頭痛・痰がらみの咳など、いろいろな症状の原因になります。

鼻 A・B 慢性鼻炎

慢性的な鼻づまりや鼻汁過多があり、集中力の低下など学校生活に影響を及ぼす事があります。学校の健康診断ではアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎と区別できないものも含まれています。

鼻 A・B 鼻中隔わん曲症

鼻の左右の空間を仕切る壁(鼻中隔)が強く曲がっているため、鼻づまりや鼻出血の原因となる事があります。手術が必要になる事もあります。

咽頭・喉頭 A・B アデノイド増殖症の疑い

アデノイドは鼻の奥にある扁桃組織です。これが大きすぎる可能性があります。大きいと口呼吸、いびきや睡眠時無呼吸の原因となったり、中耳炎や副鼻腔炎を起こしやすくなったりします。

咽頭・喉頭 A・B ⑩ 扁桃肥大

口の奥の両脇にある扁桃組織が大きい可能性があります。大きいだけでは心配ありませんが、睡眠時無呼吸や嚥下障害(飲み込みに苦い)を起こす事があります。

咽頭・喉頭 A・B ⑪ 扁桃炎

扁桃組織の炎症を繰り返して高い熱を出す習慣性扁桃炎や関節・腎臓・心臓等の病気の原因になる事があります。

咽頭・喉頭 A・B ⑫ 音声異常

声がれや鼻声など、声に異常がある可能性があります。声の出し過ぎや声変わりが原因になる事が多く、声帯結節や声帯ボリープが隠れている事もあります。

咽頭・喉頭 A・B ⑬ 言語異常

話し言葉に異常がある可能性があります。その程度によっては専門の病院で治療や訓練が必要になる事があります。

咽頭・喉頭 - A・B ⑭ その他

舌小帯短縮症、唇裂・口蓋裂、唾液腺・甲状腺の異常、腫瘍等。
()

学校長様

受診した病院(医療機関)名:

病名(診断名):

診断結果:

(あてはまるものを で囲んで下さい)

1 経過観察

2 治療開始

3 現在治療中

4 治療終了

5 その他

プール入水: 可・不可

その他:

保護者等氏名(ご署名)